

広報

きたはりま 119

<http://www.kitaharima119.net>

災害のない明るいまちづくり

vol. 11

2017 SUMMER
北はりま消防組合

- ・消防長あいさつ
- ・平成29年度予算状況
- ・平成29年上半年火災状況
- ・指令センターからのお願い
- ・消防署ダイジェスト!
- ・救急車の適正利用を!
- ・住宅用火災警報器を取り付けましょう!



平成29年中火災・救急・救助件数

平成29年6月30日現在

	西脇市	加西市	加東市	多可町	中国道	管外	合計
火災	13	23	18	3	0	0	57
救急	999	943	897	461	18	2	3,320
救助	23	25	20	5	2	0	75

消防長あらいさじ

地域住民の皆様には、平素より北はりま消防組合の運営にご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当組合は平成23年4月に発足し今年で7年目を迎え、これまで地域に密着した消防機関として、社会構造の変化等に対応しながら、消防体制の拡充強化を図ってまいりました。

消防拠点の整備については、管内全域に常備消防体制を目指し、消防署・出張所10拠点を配置する計画で整備を進め、この4月から西脇消防署西脇北出張所が西脇市寺内で業務を開始いたしました。また、消防本部と併設する西脇消防署の耐震化・増築工事と加東消防署の建設工事についても順調に進んでおり、今年度中に完成し平成30年度から運用を開始する予定です。多可町内についても早期整備に向け、今年度から整備に係る関連予算を計上しております。多可町内3出張所が運用を開始すれば、管内全ての拠点において24時間体制となります。地域住民の皆様への安心・安全を守るため、1日でも早く10拠点体制での運用を目指してまいります。

昨年、当組合の出動件数は、火災83件、救急6,341件、救助142件でしたが、少子高齢化等の社会構造の変化により、今後、出動件

数は増加することが予測され、また、南海トラフ地震等の大規模自然災害の発生も危惧されています。このような状況に対応するためにも、消防力の基礎となる消防職員の確保、消防各分野の高度な専門知識や技術を得るための研修派遣、消防装備の拡充など多方面から消防力の充実に努めるとともに、消防団・自主防災組織等の関係団体との連携を含めた地域の総合的な防災力の強化に取り組み、効率的かつ効果的な消防体制の構築に取り組んでまいります。

平成29年度は自治体消防制度が確立されて70周年の節目を迎える年であり、これを契機に地域住民の皆様への安心・安全な生活を確保するという消防に課せられた使命の重要性を再認識するとともに、当組合と関係団体との連携を強化し、全職員が一丸となって消防の使命達成のため邁進してまいります。

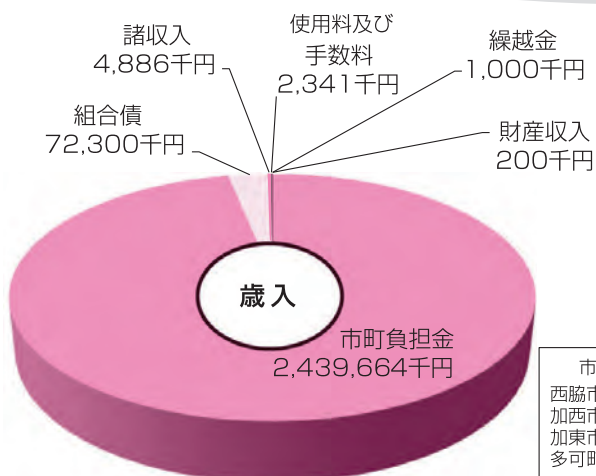
今後とも当組合の消防行政に、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



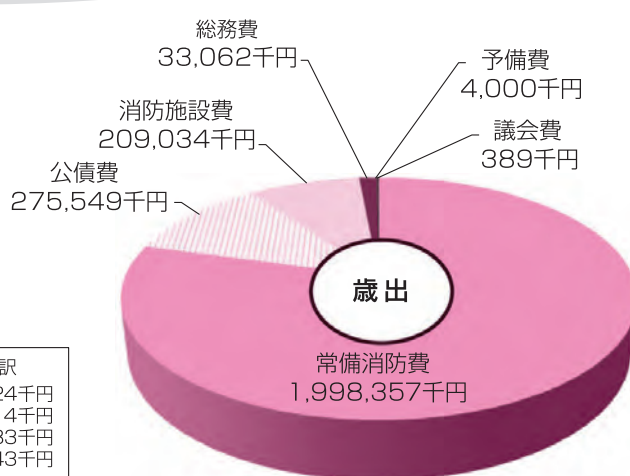
北はりま消防組合
消防長 上田 昌善

平成29年度 予算の状況

予算総額 2,520,391千円



市町負担金内訳	
西脇市	618,124千円
加西市	666,114千円
加東市	727,883千円
多可町	427,543千円



歳入

款	内容	金額
市町負担金	組合を構成する市町からの負担金	2,439,664千円
使用料及び手数料	消防検査等の手数料	2,341千円
財産収入	基金の運用利子	200千円
繰越金	前年度の繰越金	1,000千円
諸収入	その他の収入	4,886千円
組合債	消防施設整備のための借入金	72,300千円

歳出

款(目)	内容	金額
議会費	組合議会の運営活動費用	389千円
総務費	組合全体の事務管理費用	33,062千円
消防費(常備消防費)	消防業務に係る費用(人件費含む)	1,998,357千円
消防費(消防施設費)	消防施設の整備費用	209,034千円
公債費	借入金の返済費用	275,549千円
予備費	臨時の支出に備えておく費用	4,000千円

平成29年上半期出火原因別火災状況

(1月1日～6月30日迄)

あぜ焼き(たき火)による
出火が際立っています。

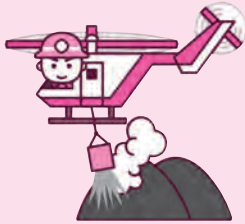


過去4年間の主な出火原因を比べてみても、あぜ焼き(たき火)からの出火件数が非常に多くなっており、北はりま消防組合管内の火災原因の特徴となっています。屋内での火の取扱いについては十分に注意が払われていますが、屋外では、注意力が薄れているのかもしれない。

あぜ焼き(たき火)から建物に燃え移った事例や亡くなられた事例もあります。

また、ゴミ焼きなどの禁止行為による苦情も多く寄せられています。

みなさんで気持ち良く暮らせる安心で安全なまちづくりを目指しましょう。

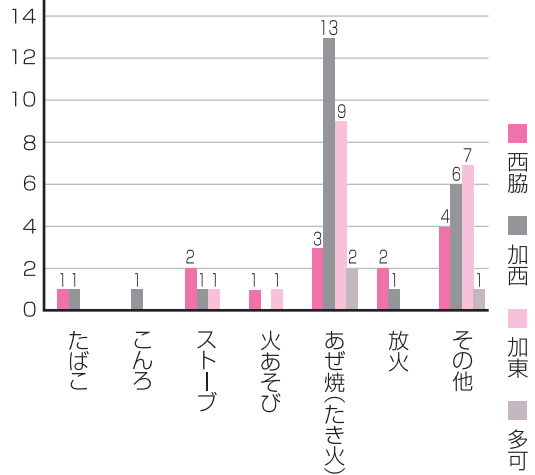


過去の上半期の主な出火原因

	あぜ焼き(たき火)	放火・放火の疑い	ストーブ	たばこ	こんろ
H29	27	3	4	2	1
H28	20	4	3	1	1
H27	16	3	2	3	
H26	22	4	2	1	4
計	85	14	11	7	6

※出火原因のうちその他、原因不明の件数は省いています。

出火原因別火災状況



平成29年上半期の火災件数は57件となり、主な出火原因はあぜ焼き(たき火)27件、ストーブ4件、放火・放火の疑い3件、たばこ2件、火あそび2件の順となっています。

特に加西市と加東市のあぜ焼き(たき火)が原因の火災件数が多くなっています。

また、あぜ焼き(たき火)が原因の火災の大半が65歳以上の高齢者の方が行っています。



消防車・救急車の要請は局番なしの119番!

緊急時は、局番なしの「119番」でお願いします。

通報の際は、あわてず落ち着いて、指令員の質問に答えてください。

最寄りの消防署へ消防車・救急車の要請をしても、災害出動等で消防署が不在の場合があり、消防車や救急車の出動が遅れる原因になります。

*病院照会や相談等は最寄りの消防署へ連絡して下さい。

◆西脇消防署 0795-22-0119

◆加東消防署 0795-42-0119

◆加西消防署 0790-42-0119

◆多可消防署 0795-32-0119



消防テレフォンサービス

◆災害案内 0795-48-0143

◆病院案内 0795-48-0147

【病院案内利用時間】 平日/17:30~翌朝8:30 土曜日・日曜日・祝日/9:00~翌朝8:30



花をいただきました！
(西脇署)

6月14日(水)、西脇北高等学校の生徒さんから、「まちかど花いっぱい運動」として花のプランターをいただきました。これからきれいな花が消防署の入口を飾ってくれます。



西脇北出張所業務開始
(西脇署)

西脇市寺内に西脇消防署西脇北出張所が完成し、組合関係者や多くの来賓にご出席いただき、平成29年3月25日に竣工式を挙行了。平成29年4月1日から職員13名を配置して、業務を開始しています。

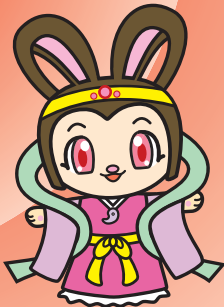
西脇北出張所は、高規格救急自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、事務連絡車1台を配備しており、西脇市北東部における消防災害拠点として、各種災害に24時間体制で対応します。



にっしー

形に 習慣に

統一防火標語



ねっぴ〜

ふるさと加西観光大使



▲西脇小学校



▲楠丘小学校

西脇市内の各小学校で避難訓練が実施されました。地震や火事を想定した訓練に、児童たちは少し戸惑いながらも本番さながらに取り組んでいました。

小学校の避難訓練
(西脇署)



▲ぼくたちレスキュー隊



▲みごとな放水姿勢

1月31日(火)、加西市女性団体連絡会会員及び市内在住の親子を対象とし、加西消防署一日体験を実施しました。

消防署1日体験
(加西署)



林野火災合同訓練
(加西署)

2月26日(日)、加西市鴨谷町にあるオークタウン加西で、加西市消防団と加西北出張所(旧北分署)との合同訓練を行いました。



聴覚障害者交流会
(加西署)

1月19日(木)、加西消防署で聴覚障害者と交流会を開催し、現場で役に立つ手話を教えていただきながら、実際の現場を想定した訓練も実施しました。



**危険物災害対応訓練
(加東署)**

危険物安全週間に際し、管内に危険物施設が多い加東消防署では泡消火及び資機材取扱訓練を実施し、危険物施設での災害対応について再確認しました。



**加東消防署の起工式
(加東署)**

▲加東消防署完成予想図(完成予定平成30年3月末)

加東消防署では、平成29年度末完成に向けて加東市上中地内において、庁舎の移転建設工事を行っています。



**消防署見学
(加東署)**

市内各小学校の4年生のみなさんが加東消防署の見学に来署し、職員が消防の仕事について説明を行いました。



加東市マスコット
加東伝の助

**火の用心 ことは
2017全国総**



▲水平渡過訓練



**トライやる・ウィーク
(多可署)**

町内の中学校から6名の生徒を受け入れました。生徒たちは、予防業務や警防業務を学ぶと共に、職員と一緒に毎朝の車両点検や救助訓練、放水訓練等の現場活動業務を体験しました。



たか坊



**多可町消防操法大会
(多可署)**

6月18日(日)、多可町消防操法大会が行われ、日々の訓練成果を発揮されました。消防操法は、消防活動の基本となります。



▲上手に消せました



**消防教室
(多可署)**

子育て世代の方々を対象とした消防教室を開催しました。救命講習では、蜂に刺された時の対処方法やケガをした時の応急処置などを学びました。また、消火体験や消防車などを見学し、子どもたちの笑顔が溢れていました。



『適正利用 守ってつなぐ命のバトン』



平成28年中の北はりま消防組合救急出動件数

(単位: 件)

市町別	西脇市	加西市	加東市	多可町	管外・その他	合計
合計	1,802	1,878	1,764	888	9	6,341

平成28年中の北はりま消防組合救急出動～現場到着所要時間別出動件数

(単位: 件)

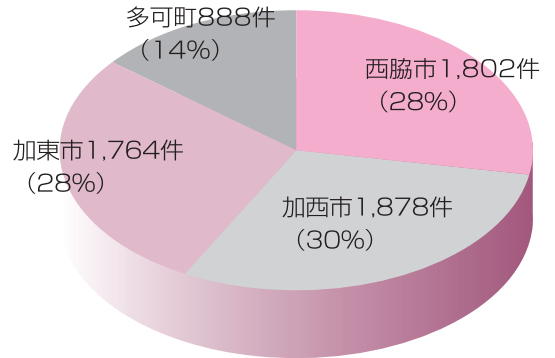
時間別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
合計	86	395	3,966	1,836	58	6,341

平成28年中の救急出動件数は6,341件で、西脇市1,802件(28%)、加西市1,878件(30%)、加東市1,764件(28%)、多可町888件(14%)、管外・その他が9件でした。

救急事故の覚知(通報)から現場に到着するまでに要した時間別では、もっとも多いのが5分以上10分未満の3,966件(63%)で、次いで10分以上から20分未満が1,836件(29%)となっており、平均時間は8.4分です。

※全国平均時間は8.6分(平成28年中)

救急車が到着するまで時間がかかるため、そばに居合わせた人による心肺蘇生法がとて重要となります!!!



「社会復帰事案を経験して」 Y・Y救急隊員

1月の冷え込んだ真夜中、「50歳代男性、しんどくて我慢できない。」との通報で出動すると、凍てつく寒さの中、共同住宅の駐車場で男性が救急車を待っていました。男性は「胸が締め付けられるようで辛抱できない」「肩まで痛い」「こんな痛みは初めて」と訴えられ、もしやと思い心電図を測ると心筋梗塞特有の波形を示していたので、早期搬送と適切な治療が必要であると病院へ連絡し直ちに向かいました。

その二十日後、Mさんは退院され、元気な姿で消防署を訪問され、「三途の川を渡るうとした時に、あの若い救命士さんの頑張っで下さいという大きな声が聞こえて踏み留まることができました。救急隊の皆さん本当にありがとうございました。この命、大切に生きていきます。」とお礼の言葉をいただきました。後日、後遺症もなく仕事にも復帰され、心の底から良かったと思いました。

この救急出動は、私が救急救命士として初めて重症の方を社会復帰に導くことのできた事案であり、この経験は自分の大きな励みとなり自信にもつながりました。

搬送中、Mさんが意識を失いかけたので、状態を観察しながら常に励ましの声をかけ続けました。しかし、Mさんが「もう駄目だ。死ぬかもしれない。兄ちゃん助けて。」の言葉の後突然痙攣を起こして反応がなくなりました。

心電図波形を確認すると、心室細動というAEDによる電気ショックが必要な波形に陥っており、直ちに電気ショックを実施しました。すると、一時的には呼吸も脈拍も戻りましたが、意識は朦朧としており不安定な状態が続き、病院到着までに計五回の電気ショックを実施しました。

「絶対に助けるんだ。」その思いで、「Mさん頑張ってくださいー」と言いながら心肺蘇生を実施したのを覚えています。そして、なんとか病院に到着した後、Mさんの心臓はしっかりと動き始めました。

今後、このように一人でも多くの人を助けるための手助けができるよう、自己研鑽はもちろんのこと住民の皆様への救急車の適正利用を普及啓発し、多くの人に心肺蘇生法を普及していくよう業務に精進します。

【平成29年度定例救命講習会日程】 ※申し込みの際は最寄りの消防署へご連絡下さい。

担当消防署	日程	開催場所
西脇消防署	8月27日(日) 12月17日(日)	西脇市コミュニティ消防センター 多目的室
加西消防署	10月22日(日) (H30)2月25日(日)	2階小会議室
加東消防署	9月24日(日) (H30)1月21日(日)	2階会議室
多可消防署	7月23日(日) 11月26日(日) (H30)3月11日(日)	アスパル2階研修室
時間	9時00分～12時00分の3時間 (受付は8時30分から行います。)	

心肺蘇生法に関するガイドライン2015が発表され、その内容が一部変更になっています。お近くの消防署で定例救命講習会を開催していますので、ぜひご参加ください。



すべての家庭に 住宅用火災警報器を!

取り付けはあなたの義務です!



住宅火災による犠牲者を減らすため、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅火災で亡くなる原因の多くは「逃げ遅れ」です。住宅用火災警報器は、火災の煙を早期に感知し、大切な家族の命を守ってくれます。警報器による火災の早期発見で大きな被害を免れた事例が北はりま消防組合管内でもあります。

住宅用火災警報器を取り付けていない方は、今すぐ取り付けましょう。

日頃の点検やお手入れでさらに安全に!

住宅火災から尊い命を守る住宅用火災警報器ですが、最近「火事でもないのに警報が鳴る時がある。」といった相談が寄せられることがあります。

万が一のために、警報が鳴った時の正しい対処法を知っておきましょう!



火災の時

- ▶ 周りに大きな声で知らせましょう。
- ▶ 避難しましょう。
- ▶ 119番しましょう。
- ▶ 可能であれば初期消火を。



火災でない時

- ▶ 警報音停止ボタンを押すか、警報停止用のひもを引いて警報音を止めてください。
- 次のものは誤作動の原因となるので注意してください。



●くん煙式殺虫剤



●ホコリや小さい虫



●料理時に発生する大量の煙や湯気

電池切れの場合

- ▶ ホコリ、湯気などが無い時に「ピッ」と警報音がなった場合、電池切れの可能性が有ります。新しいものに交換してください。

機器異常の場合

- ▶ 「ピッピッピッ」と一定の間隔で鳴る場合は、機器の異常です。新しい火災警報器に交換してください。

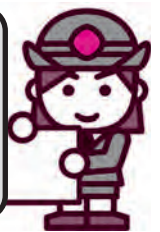


住宅用火災警報器は10年を目安に取り替えましょう!



音で助かる命がある!

住宅用火災警報器を取り付けましょう!



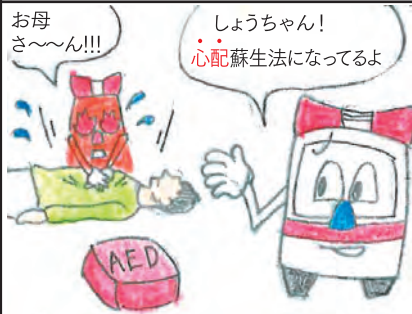
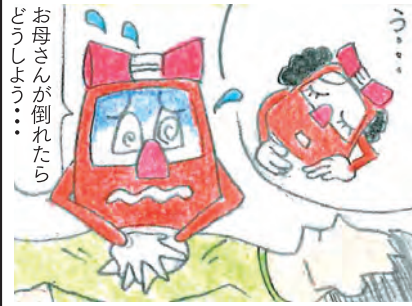
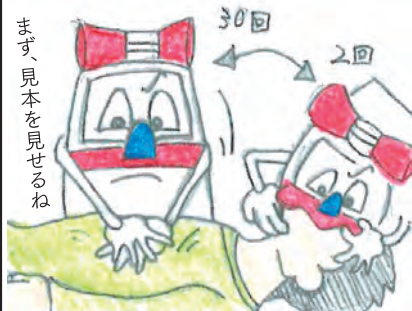
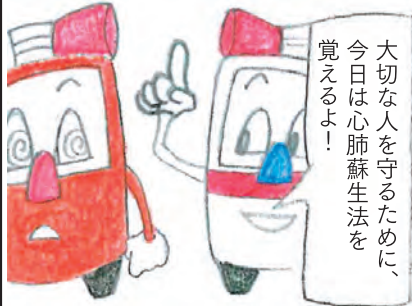
【お問合せ先】北はりま消防本部消防部予防課 Tel0795-48-3071

がんばれ!
しょうちゃん・きゅうちゃん

その3



心肺蘇生法の巻



大切な人を守るために、
心肺蘇生法を覚えておきましょう!



北はりま消防本部
ホームページは
こちらまで!



わが家の 消防士



「加東の平和はぼくたちが守る!」

左から
ふじはら 藤原 たいが 大河くん
もりおか 森岡 さえと 冴斗くん
うらかわ 浦川 いつき 斎くん
(加東市)



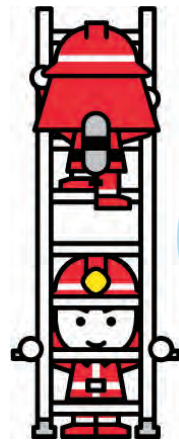
「消防士になるゾ!」

左から
すすき 鈴木 りおな 莉桜愛ちゃん
すすき 鈴木 とうま 翔満くん
(加西市)



わが家の 消防士 大募集!!

あなたのお子様も消防士や救命士になって
写真を撮ってみませんか?
北はりま消防本部には約100センチサイズの
救命士服があります。
気軽にお問い合わせください。



お問合せ先

警防部警防課 (平日 9:00~17:00)
電話:0795-48-3072
E-mail:fd_keibo@kitaharima119.net



▲起床後の鉄人K西主幹

若い者は、まだまだ負けん!
今年で消防人生32年目を向かえ、51歳になろうとしている加西消防署K西主幹。(私(広報編集委員)は娘さんと同級生です。)
「娘と同じ年の子と働くようになって俺も歳ごたわ。」とよく口にされていますが、非番には必ず1時間のランニング(当務中には、起床後と夕方とお風呂の前に毎日欠かさずトレーニングを行っています。平成28年度に加西南出張所で行った体力測定会では、トップの成績で、若手職員を圧倒したそうです。もちろん体力だけではなく長年培った現場対応力で、的確な指示によりスムーズな現場活動を実施し誰もが頼りにする上向きです。
頼りになるのは現場にいてもらえず、家族の大黒柱として(実は娘さんには×0×0、奥さんには尻にしかれてるんだとか…汗)非番ではしっかり家族サービスもしています!(笑)
これからも信念である「継続は力なり」と「何事にも辛抱強く」をモットーに、北はりま消防組合管内の安全を守っていきます。
(よく加西市内を走っているの、見かけた際には声援お願いします!できたは黄色い声援で!!笑)